

2018年12月18日

欧州医薬品評価委員会（CHMP）からの オピオイド誘発性便秘症治療薬 Rizmoic®に対する肯定的な見解について

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」または「当社」）は、欧州医薬品庁（EMA）の医薬品評価委員会（CHMP）より、「緩下薬での治療経験を有する成人のオピオイド誘発性便秘症（Opioid-Induced Constipation:OIC）」を適応症として、Rizmoic®（一般名：ナルデメジン、日本での製品名：スインプロイク®）の承認を推奨する肯定的な見解が発表されたことをご知らせいたします。

CHMPの肯定的な見解は、欧州連合に承認を与えている欧州委員会（EC）への最終的な承認勧告とみなされます。本剤は今後、欧州委員会で審議されることとなります。

本剤は、日本では2017年6月に製品名「スインプロイク®」として発売されており、米国では2017年10月に製品名「Symproic®」として発売されております。本剤は、オピオイド鎮痛薬を用いた疼痛管理を行う上で、OICでお困りの患者さまに対して新たな治療選択肢として貢献しております。

塩野義製薬は、「創薬型製薬企業として社会とともに成長し続ける」ことを経営目標として掲げた中期経営計画SGS2020の中で、「個人が生き生きとした社会創り」を当社が取り組むべき社会課題の一つにあげており、疼痛治療に関する諸課題を解決する革新的新薬の創製に注力しております。引き続き疼痛領域に対する取り組みを強化し、さまざまな痛みや疼痛治療薬による副作用でお困りの患者さまのQOL（quality of life）向上に貢献してまいります。

以上

【お問合せ先】

塩野義製薬株式会社 広報部

TEL：06-6209-7885